



平成25年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社 アイフイスジャパン
コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 野口 祥吾

TEL 03-6825-1250

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	1,682	13.1	145	7.6	158	11.4	108	3.2
24年12月期第2四半期	1,488	22.8	135	52.1	142	57.9	105	96.1

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 115百万円 (10.1%) 24年12月期第2四半期 104百万円 (105.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年12月期第2四半期	11.29	11.27
24年12月期第2四半期	10.95	10.94

(注) 当社は、平成25年5月16日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年12月期第2四半期	2,296	1,819	76.9	182.93
24年12月期	2,143	1,736	78.5	174.75

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 1,766百万円 24年12月期 1,683百万円

(注) 当社は、平成25年5月16日付で普通株式1株につき普通株式200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年12月期		0.00		700.00	700.00
25年12月期		0.00			
25年12月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年12月期(予想)期末の配当金については、平成25年5月16日を効力発生日として普通株式1株を200株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,500	10.8	310	47.8	310	42.8	210	35.4	21.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、〔添付資料〕P.3'2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	10,238,000 株	24年12月期	10,214,000 株
期末自己株式数	25年12月期2Q	582,200 株	24年12月期	582,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	9,647,082 株	24年12月期2Q	9,631,800 株

当社は、平成25年5月16日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P.3'1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3．四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和策等の影響による株価上昇や円安進行などを受け、消費者心理や企業の景況感が改善するなど、景気回復の兆しが見え始める状況となっておりまいりました。しかしながら、新興国経済の成長鈍化や欧州債務問題の再燃懸念など、日本経済の先行きに対する不安要素も強く、楽観視出来ない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、金融市場の状況が昨年に比べ大きく好転し、投資信託の新規設定が増加傾向となった影響により、投資信託関連印刷業務の受注量が大きく伸びております。また、投資情報事業におきましては、証券会社向けASPサービスが昨年に引き続き順調に伸びたことに加え、資本市場関係者向けリアルタイムニュースが着実に契約を伸ばしております。さらに、企業規模の拡大と業績の安定を目的として、金融業界以外の他業種展開を検討しておりましたが、当第2四半期連結会計期間より他業種展開の一環として製造業向けに検索エンジンサービス「IFIS製造業サーチ」の提供を開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,682百万円（前年同期比194百万円増、13.1%増）、営業利益は145百万円（前年同期比10百万円増、7.6%増）となりました。また、経常利益は158百万円（前年同期比16百万円増、11.4%増）、四半期純利益は108百万円（前年同期比3百万円増、3.2%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

大手証券会社やオンライン証券向けASPサービスが順調に業績を伸ばしており、また昨年において延期となっていたASPサービスも予定通り納品が完了し業績を大きく伸ばしております。また、『IFIS Research Manager』（アイフィス・リサーチ・マネージャー）や『IFIS Consensus Manager』（アイフィス・コンセンサス・マネージャー）といった主力商品も堅調に推移し、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュースも堅実に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は325百万円（前年同期比32百万円増、11.1%増）、営業利益は145百万円（前年同期比35百万円増、32.1%増）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

金融法人における証券調査レポートの電子配信移行に伴う印刷物の減少や、事業法人におけるIR活動の縮小に伴うコスト圧縮など、印刷需要全体の減少傾向が続いております。一方で、翻訳事業やE-mail・Fax同報配信サービスなど、印刷以外のサービスが順調に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は440百万円（前年同期比15百万円減、3.4%減）、営業利益は66百万円（前年同期比18百万円増、37.7%増）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

今年に入り投資信託ファンドの新規設定が増加傾向に転じ、投資信託市場の業況が好転している影響により、印刷受注量が昨年よりも大幅に増加しております。また、確定拠出年金関連の印刷やソリューションサービス、運用報告書などの新たな商材も、昨年に続き順調に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は599百万円（前年同期比96百万円増、19.2%増）、営業利益は136百万円（前年同期比2百万円増、2.0%増）となりました。

<ITソリューション事業>

ITソリューション事業につきましては、開発案件の受注が下期に偏るなどの要因によって一時的な落込みを見せており、厳しい状況となっております。一方で、マイグレーションのライセンス販売は順調な伸びを見せており、また主力事業である証券・金融業向けシステムソリューションサービスも堅調に推移しております。

その結果、売上高は287百万円、営業損失は30百万円となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、平成25年6月より製造業に特化した検索エンジンサービス「IFIS製造業サーチ」の提供を開始いたしました。

その結果、売上高は30百万円、営業利益は20百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、前連結会計年度末に比べ153百万円増加し、2,296百万円となりました。

流動資産は89百万円増加し、1,904百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が82百万円増加する一方、売上高の変動に伴い受取手形及び売掛金が15百万円減少したことによるものであります。固定資産は63百万円増加し、392百万円となりました。主な要因は、ソフトウェア開発等に伴い無形固定資産が20百万円増加したこと、投資その他の資産が44百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、476百万円となりました。

流動負債は79百万円増加し、460百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が36百万円増加したことによるものであります。固定負債は9百万円減少し、16百万円となりました。主な要因は、その他固定負債が9百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末に比べ82百万円増加し、1,819百万円となりました。主な要因は、四半期純利益108百万円の計上と、剰余金の配当33百万円によるものであります。

<キャッシュ・フローの状況の分析>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ83百万円増加し、1,442百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、取得した資金は211百万円（前年同期は166百万円の取得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益158百万円、減価償却費51百万円、売上債権の減少額25百万円であります。また、支出の主な内訳は、法人税等の支払額27百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は96百万円（前年同期は42百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出64百万円、投資有価証券の取得による支出43百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は32百万円（前年同期は33百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払い133百万円であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月31日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,414,529	1,497,215
受取手形及び売掛金	335,829	320,396
有価証券	13,013	14,861
仕掛品	5,764	9,939
その他	47,170	62,654
貸倒引当金	1,358	1,016
流動資産合計	1,814,949	1,904,051
固定資産		
有形固定資産	40,096	38,467
無形固定資産		
のれん	662	220
ソフトウェア	130,532	125,661
ソフトウェア仮勘定	12,200	38,450
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	144,864	165,802
投資その他の資産	143,764	188,363
固定資産合計	328,725	392,632
資産合計	2,143,675	2,296,684
負債の部		
流動負債		
買掛金	136,996	139,908
未払法人税等	29,427	65,483
賞与引当金	9,707	11,222
その他	204,954	244,101
流動負債合計	381,086	460,715
固定負債		
退職給付引当金	14,321	13,870
その他	11,310	2,216
固定負債合計	25,632	16,087
負債合計	406,719	476,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,290	382,010
資本剰余金	437,090	437,810
利益剰余金	938,330	1,013,531
自己株式	77,912	77,912
株主資本合計	1,678,798	1,755,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	882	1,712
為替換算調整勘定	3,466	9,183
その他の包括利益累計額合計	4,348	10,896
少数株主持分	53,809	53,545
純資産合計	1,736,956	1,819,881
負債純資産合計	2,143,675	2,296,684

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）
売上高	1,488,230	1,682,751
売上原価	918,784	1,057,968
売上総利益	569,446	624,783
販売費及び一般管理費	433,914	478,930
営業利益	135,531	145,853
営業外収益		
受取利息	288	368
受取配当金	142	359
持分法による投資利益	4,329	3,867
技術指導料	1,634	-
為替差益	31	2,420
保険解約返戻金	-	4,144
その他	816	1,796
営業外収益合計	7,242	12,956
営業外費用		
支払利息	273	-
その他	-	2
営業外費用合計	273	2
経常利益	142,500	158,807
特別利益		
出資金売却益	1,445	-
負ののれん発生益	8,142	-
特別利益合計	9,587	-
特別損失		
固定資産除却損	277	3
特別損失合計	277	3
税金等調整前四半期純利益	151,810	158,804
法人税、住民税及び事業税	36,213	63,185
法人税等調整額	10,881	13,029
法人税等合計	47,094	50,155
少数株主損益調整前四半期純利益	104,716	108,648
少数株主損失（ ）	780	264
四半期純利益	105,497	108,913

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	104,716	108,648
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	424	829
持分法適用会社に対する持分相当額	312	5,717
その他の包括利益合計	111	6,547
四半期包括利益	104,604	115,196
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,385	115,460
少数株主に係る四半期包括利益	780	264

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	151,810	158,804
減価償却費	69,740	51,385
出資金売却損益(は益)	1,445	-
のれん償却額	441	441
負ののれん発生益	8,142	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	354	342
賞与引当金の増減額(は減少)	6,824	1,514
退職給付引当金の増減額(は減少)	485	450
受取利息及び受取配当金	430	727
支払利息	273	-
持分法による投資損益(は益)	4,329	3,867
保険解約返戻金	-	4,144
固定資産除却損	277	3
売上債権の増減額(は増加)	8,226	25,354
たな卸資産の増減額(は増加)	17,840	4,174
仕入債務の増減額(は減少)	17,668	2,912
未払消費税等の増減額(は減少)	2,130	1,418
その他	8,541	10,303
小計	199,515	238,430
利息及び配当金の受取額	416	700
利息の支払額	199	-
法人税等の支払額	33,253	27,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	166,479	211,829
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	4	7
有形固定資産の取得による支出	3,242	3,895
無形固定資産の取得による支出	33,532	64,102
投資有価証券の取得による支出	-	43,327
投資有価証券の償還による収入	249	-
出資金の売却による収入	2,606	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	6,702	-
子会社株式の取得による支出	-	200
差入保証金の差入による支出	1,166	24
差入保証金の回収による収入	25	3,737
保険積立金の積立による支出	838	599
保険積立金の解約による収入	-	11,550
定期預金の預入による支出	100,300	600
定期預金の払戻による収入	100,000	1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	42,906	96,270
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	-
短期借入金の返済による支出	101,251	-
長期借入金の返済による支出	2,913	-
株式の発行による収入	-	1,437
配当金の支払額	28,895	33,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,059	32,274
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	90,513	83,285
現金及び現金同等物の期首残高	1,301,933	1,358,925
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,392,446	1,442,210

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成24年1月1日至平成24年6月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報事業	ドキュメント ソリューション 事業	ファンドディ スクロージャ ー事業	ITソリュー ション事業 (注) 3			
売上高							
外部顧客への売上高	292,663	456,477	502,916	236,172	1,488,230	-	1,488,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	14,274	22	2,640	17,937	17,937	-
計	293,663	470,752	502,939	238,812	1,506,167	17,937	1,488,230
セグメント利益	110,284	48,026	133,705	27,467	319,484	183,952	135,531

（注）1．セグメント利益の調整額 183,952千円には、セグメント間取引消去 1,553千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 182,399千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3．ITソリューション事業につきましては、株式会社インフォテックを平成24年2月17日付で子会社化し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成24年3月31日としたため、当第2四半期連結会計期間より四半期損益計算書を連結しております。

2．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれんの発生益）

ITソリューション事業において、当社は株式会社インフォテックの株式を取得し連結子会社としました。当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては8,142千円であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	投資情報 事業	ドキュメントソリ ューション 事業	ファンド ディスク ロージャ ー事業	ITソリ ューション 事業				
売上高								
外部顧客への売上高	325,216	440,734	599,236	287,564	30,000	1,682,751	-	1,682,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	15,995	-	2,266	-	19,262	19,262	-
計	326,216	456,729	599,236	289,830	30,000	1,702,014	19,262	1,682,751
セグメント利益又は損 失()	145,681	66,109	136,429	30,570	20,152	337,802	191,949	145,853

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データベース等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 191,949千円には、セグメント間取引消去 1,586千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 190,363千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。